



京都切り絵歳時記

月刊

2006年

あじえんだ 5-6月



事務所 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター2F 活動支援室内
TEL: 075-647-3535 FAX: 075-647-3536
E-mail: ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

事務局 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
京都市環境局地球温暖化対策課内
TEL: 075-222-4037 FAX: 075-222-4039

KES認証事業部 〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2
京都工業会館2F TEL/FAX: 075-323-6686
E-mail: kesma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp
<ホームページ> <http://ma21f.web.infoseek.co.jp/>

みやこ
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信
月刊あじえんだは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です



企業活動ワーキンググループ活動報告

KES PRパンフレットがリニューアル
取引先に環境問題への取組を広めるの
にご活用ください

昨年企業活動ワーキンググループ（以下WG）で制作したKESのPRパンフレットを、4月にリニューアルしました。事業所の事例紹介ページに新たに日本紙工株式会社、ホテルグランヴィア京都、京都府立北稜高等学校の事例を掲載させていただきました。いずれもそれぞれの事業所の特徴を生かし、KESの仕組みに基づき熱心に環境問題に取り組んでおられます。

取引先などに自社の取組を理解してもらったり、取組を広めるときに、このパンフレットを役立てていただきたいと思います。ご希望の方は、フォーラム事務局までご連絡ください。

*事務所の連絡先は「月刊あじえんだ」のタイトル右に掲載しています。

2005年度 企業活動WG活動報告

KESの審査登録組織は、2006年3月末現在、京都市内では299件、全国では1000件以上となっています。2005年度、KES審査登録活動の促進を1つの柱として活動してきた企業活動WGとしては、喜ばしい限りです。

一方、KESの審査登録組織で「かんきょうレポート」を

作成しているところはまだ数が少なく、環境報告書作成の促進は、今後の課題となっています。

1. KES審査登録活動の促進

●KES PRパンフレットの作成

環境問題初心者企業や学校、一般市民にKESを広めていくため、PRパンフレットを作成しました。環境マネジメントシステム（KES）推進セミナーで配布したほか、書店にも置いてもらいました。

●中小企業向け 環境マネジメントシステム（KES）推進セミナーを共催

京都商工会議所、(社)京都工業会、京都府、京都市主催「地球温暖化対策のための中小企業 環境マネジメント推進事業」の一環として、中小企業向けの環境マネジメントシステム認証取得推進セミナーが、京都府内で計11回開催されました。フォーラムもこれを共催しました。

2. KES審査登録組織の環境報告書作成促進

●京都環境賞 特別賞（環境レポート）、特別賞（企業）の表彰に協力

事業所の「かんきょうレポート」作成を促し、また多くの事業所に環境問題への取組を広げていくため、企業への応募の呼びかけ、事前選考、賞金の提供等、京都市主催の京都環境賞の表彰に協力しました。

KES認証取得企業の声

今号から、KESを認証取得している企業の、具体的な環境取組をご紹介します。

成功の秘訣は徹底した社員教育



日本紙工株式会社（製品パッケージの印刷・製造）
TEL 075-921-4301 <http://www.nihonshiko.co.jp/>
2002年10月に、KESステップ2を認証取得

KESを認証取得し、電力は初年度、前年度比10%もの削減ができ、月平均40万円安くなりました。産業廃棄物も今ではリサイクル率96%となり、処理料金もKES導入前の半分以上になりました。

当社で大幅な環境負荷の低減、コスト削減が成功したのは、徹底した社員教育の成果です。当社の社員教育は2段階で、まず各部署のリーダーを教育し、その後それぞれのリーダー

が年間10回、各部署でパートを含めた社員に研修を行います。小グループに分かれて実際に廃棄物置場に行って廃棄物の分別の仕方を伝えたり、当社から出た紙ごみをリサイクルして作られたトイレトーパーを見せて、ごみ分別の大切さを伝えています。廃棄物置場は毎日チェックし、ちゃんとした捨て方がされていなかったら、そのごみを出したと思われる部署に連絡し、次回からきちんと出すように指導します。そういった積み重ねで、今では社員にすっかりKESが浸透し、家庭でも環境を意識した生活をするようになっているようです。

現場を見せ、具体的に自分たちが取り組んでいることをイメージできるようにすること、根気よく社員に伝えていくことが大切だと考えています。

（環境委員会事務局 喜多村 信吾さん）

Agenda Forum

5,6月の
ミーティングと
主催行事の予定

◆ゴールデンウィーク中の事務所の予定

4月28日（金）開所 29日（土）休所 30日（日）休所
5月1日（月）開所 2日（火）開所 3日（水）休所
4日（木）開所 5日（金）休所 6日（土）休所

5月9日（火）18:30～ エコミュージアムWG会議 洛西境谷会館 第2会議室
5月17日（水）10:00～ エコリズムWG会議 場所未定
6月27日（火）平成18年度（2006年度）総会（予定）

◆今号は5月・6月合併号です。5月、6月は総会準備のため、月刊あじえんだの発送はお休みさせていただきます。

7月に7・8月合併号を発行する予定です。どうぞよろしくお願いいたします。



自然エネルギーワーキンググループ活動報告

「企業と市民で広げる自然エネルギー」
見学会および講演会
好評のうちに終了 3月14日（火）

3月14日（火）に、自然エネルギーワーキンググループ主催で、おひさま発電所（太陽光発電所）のある保育園の見学会、講演会、参加者交流会を開催しました。

当日は雨にもかかわらず、遠くは奈良県や大阪府、福知山市などから、企業、他自治体職員、一般市民の方々など、のべ40名にご参加いただきました。

●おひさま発電所見学会

あけぼの保育園（伏見区）、春日野園（伏見区）を訪問し、太陽光発電設備や雨水タンク、環境教育に利用している川を見せさせていただきました。子どもたちがこれらの設備を利用していきいきと学び、遊ぶ中で、子どもたちだけでなく親や先生も、環境を大事にする気持ちや行動を自然に身につけていく様子が説明されました。

（見学会の様子は右の写真をご参照ください）

●講演会

京エコロジーセンターにて、長谷川公一先生（東北大学大学院文学研究科教授）に「自然エネルギーが拓く未来」というテーマで講演していただきました。企業と市民が対等の関係で連携し、自然エネルギーなどの事業を展開していくことの意義について、お話ししていただきました。（詳しい内容については、右ページをご覧ください。）

●参加者交流会

京エコロジーセンターで行った参加者交流会には20名以上の方々にご参加くださり、自己紹介や意見交換を、和やかな雰囲気の中で行うことができました。

参加者からは、「見学会では実際に現場を見て、現場の生の声を聞いて良かった。施設そのものに血が通っていると感じた」「講演を聞き、市民と企業が連携して事業を行っていく必要性が理解できた」といったような感想をいただき、好評のうちに終わることができました。

ご参加くださった皆さん、お忙しい中見学させていただいた保育園の皆さん、長谷川先生に御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

2005年度活動報告

京都で自然エネルギーを普及させるためには、市民・NP0と企業が連携して取り組む仕組みが必要です。そのため企業とのパートナーシップ形成のための活動を行いました。

また、京都市に対し、2006年度事業への政策提案を行いました。

●企業とのパートナーシップ形成に向けた調査研究、企業と連携した自然エネルギー普及のシステムづくり

京都に本社を置く企業6社を訪問し、企業の環境問題への取組のヒアリング調査、及び当WGが行っている自然エネルギー普及の活動紹介を行いました。



春日野園で表示盤を見る参加者のみなさん
表示盤には太陽光発電の発電量に合わせてオレンジのライトが点灯します。



あけぼの保育園の雨水タンクの前で
雨水タンクは子どもたちの環境教育に使われ、散水に利用されています。



春日野園の太陽光発電パネル
パネルの裏には出資された方々の名前が書かれています。

また、「企業と市民で広げる自然エネルギー」見学会・講演会を開催しました。

●京都市における自然エネルギー普及に関する政策提案

京都市に対し、①太陽光発電をはじめとする自然エネルギー利用の推進のために、既存の個人家庭に加え団体や準公共施設への設置に対する補助を行うこと、②効果的な温暖化対策のための収集データの解析・提言、自然エネルギーや省エネルギーに関する各種相談業務、助成制度の運用などを行う「環境エネルギー相談所」を創設すること、等を提案しました。



**自然エネルギーWG主催「企業と市民で広げる自然エネルギー」
見学会および講演会 2006年3月14日(火)
■講演テーマ：自然エネルギーが拓く未来
演者：長谷川公一氏(東北大学大学院・環境社会学)**

【講演会要旨】

京都では現在までに保育園などで8基のおひさま発電所が稼動しており、市民

共同出資のおひさま発電所づくりが周辺にも広がっている。こうした取組が単発で終わることなく、地元や周辺、全国に波及していくモデルとなったことが大事であり、ひとつのビジネスモデルを生み出したとも言える。このように、市民と企業等とのコラボレーション(協働)モデルを作り出していくことが大きな鍵になっている。

市民共同発電所の取組は、日本の市民がどのくらい力を持ってきたかを表す端的な事例である。これまでに北海道、青森、秋田で計5基の市民風車(市民が共同で出資して建設された風力発電所)が稼動しており、これに加えて本年新たに青森、秋田、茨城、千葉で5基の市民風車の建設が始まっている。この新規の市民風車事業についても、全国から多くの出資が寄せられ、約2ヶ月程度で総額8億6000万円が集まった。市民出資は「原発ではない、安全な方法で生み出される電力がほしい」などといった社会的メッセージとしての投資である。また、若干の配当とともに環境にも貢献できればうれしいという市民の思いも背景にある。

市民風車の取組の中でも、第1号機となった「はまかぜちゃん」は、当時の(株)トーマンパワー・ジャパン(現(株)ユーラスエナジー・ジャパン)が建設を計画していた風車4基分のうち1基を譲る、メンテナンスなどにも協力する、という市民と企業とのコラボレ

ーションの形になった。(株)トーマンパワー・ジャパンとしては風力発電事業を進めることが、単に企業利益だけを求めるものだと思われたくない。風車1基分を市民側に譲ることで、自分たちの風力発電事業に対する姿勢を市民側や地元側に理解してほしいという思いがあったのではないだろうか。

このように企業と市民が対等の関係でコラボレーションによって事業を展開していくことの意義は大きい。企業は市民と連携する中で、自分たちのシーズ(企業が持っている技術、材料)と、それにマッチするニーズ(市民が必要としていること)を把握できる。また、CSR(企業の社会的責任)として、環境問題に市民とともに取り組むという企業姿勢やイメージをアピールすることにもつながる。大阪ガス(株)などでは社員教育や労働意欲の低下を防ぐために、従業員がNP0と積極的に関わることを奨励している。今後は、企業自身が活力をもって生き残っていくためにも、市民のエネルギーをいかにに取り込み、連携していくことができるかが課題である。

(記録 自然エネルギーWG 豊田陽介)



助成金案内 環境取組を対象とした助成金情報を紹介します

京都市市民活動総合センターのホームページに、以下の助成金情報が掲載されています。他にもいろいろな助成金情報が掲載されていますので、ご利用ください。
<http://shimin.hitomachi-kyoto.jp/>

●公益信託富士フイルム・グリーンファンド／2006年度 FGF 助成

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/2005koeki.htm#fgf>

対象活動：自然環境保全もしくは自然とのふれあい活動

助成金額・件数：3件程度、総額650万円(予定)

締切り：2006年5月15日

問合せ先：(財)自然環境研究センター内 公益信託富士フイルム・グリーンファンド事務局

住所 〒110-8676 東京都台東区下谷3-10-10

電話 03-5824-0955 FAX 03-5824-0956

●藤本倫子環境保全活動助成基金

http://www.jeas.or.jp/activ/prom_01_00.html

対象活動：

- (1) 実践活動(観察会、リサイクル、植栽・環境修復等)
- (2) 普及啓発活動(環境講座・教室の開催、パンフレットの作成、広報誌の作成、教育教材の作成等)
- (3) 調査活動(野生生物の調査、水質等の調査・分析、環境情報の収集・提供等)

助成対象活動の期間：

原則として年度(4月1日～翌年3月31日)内。交付決定後に活動を開始する事業を助成対象とする。

上限：1件あたり30万円

締切り：2006年4月1日～5月15日、

6月1日～8月15日

問合せ先：(財)日本環境協会「藤本倫子環境保全活動助成基金」運営管理委員会事務局

住所 〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9

プライム神谷町ビル2F

電話 03-5114-1251 FAX 03-5114-1250

「フォーラム改革推進プロジェクトチーム（仮称）」を開催します

3月28日に開催された平成17年度第6回幹事会・第5回常任幹事会合同会議において、戦略検討委員会コーディネーターの山田章博氏より、戦略検討委員会での検討結果が報告されました。改革提案に示された個別の取組と課題に対する具体的な対処方法の検討・立案を幹事会から付託された「フォーラム改革推進プロジェクトチーム（仮称）」の設置が承認されました。

6月下旬開催予定の平成18年度総会までに、今年度実際に取り組むべき戦略の方法を、今年度の活動方針・計画に位置付ける必要があります。そのための具体的なプログラムやスケジュールを策定する「フォーラム改革推進プロジェクトチーム（仮称）」の会議を5月のゴールデンウィーク明けに行い、そこで集中討議する予定です。

昨年度の戦略検討委員会での議論を踏まえ、今年度は、いよいよフォーラム改革に向けて動き出すことになります。今年度を「フォーラム改革元年」と位置付け、フォーラム

に関わる全ての人たちが、それぞれできることは何か、また、何をすべきかを考え、全力で取り組んでいきたいものです。

「フォーラム改革推進プロジェクトチーム（仮称）」のメンバーについては現在事務局で検討中です。そこでの議論については、『月刊あじえんだ』やホームページ、メールニュースでもお知らせするとともに、事務局としても逐次改革プログラムを実施していきたいと考えています。ご支援よろしくお願いします。



平成17年度第6回幹事会・第5回常任幹事会合同会議の報告

3月28日（火）に、京都市役所寺町第4会議室において、平成17年度第6回幹事会・第5回常任幹事会合同会議を開催し、以下について議論を行いました。

＜議題＞

①戦略検討委員会報告の取り扱いについて

昨年度の総会で設置が決定された「戦略検討委員会」より幹事会に報告書が提出されました。報告書は受理され、「フォーラム改革推進プロジェクトチーム（仮称）」を設置することが承認されました。報告書を受けて、「PDCA (Plan, Do, Check, Action)」が定期的にできるような組織体系の工夫がほしい」「今ある資源でどこに活動を集中させるのかも」と議論を深める必要がある」といった意見が出されました。出された意見については、プロジェクトチームの中で検討していくことが確認されました。

②平成18年度事業について

事務局からの「平成18年度活動方針及び事業計画（案）」を受けて、「フォーラム改革推進プロジェクトチーム」でより具体的な案をつくり、常任幹事会で検討することが確

認されました。

③平成18年度の事務局職員の雇用について

議案のとおり、事務局職員8名の雇用が承認されました。

④平成18年度総会日程について

6月の4週目または5週目で日程を調整することが決定されました。

*総会はその後の日程調整により、6月27日に開催予定となりました。

＜報告事項＞

戦略検討委員会の報告が、戦略検討委員会コーディネーターの山田章博氏から行われたほか、後援事業などについて報告を行いました。

＜KES 認証事業部より＞ ★ 3月の新規認証取得 2006年4月1日登録分

※確認審査合格企業の詳細については、ホームページ (<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/index.htm>) をご参照ください。

●ステップ1

- KES1-0405 富山電気ビルディング株式会社
(本社:富山市 他全食堂部、商事部、管理部、東京支店、総務部含む)
- KES1-0406 株式会社ビロウテック (京都市西京区)
- KES1-0407 株式会社稲村工務店 (京都市右京区)
- KES1-0408 京都市上下水道局疏水事務所 (京都市左京区)
- KES1-0409 株式会社中島工務店 (京都市左京区)
- KES1-0410 株式会社杉本工務店 (京都市下京区)
- KES1-0411 株式会社京都東急ホテル (京都市下京区)
- KES1-0412 株式会社瀧登製作所 (大阪府交野市)
- KES1-0413 株式会社勝本建設 (京都市山科区)
- KES1-0414 有限会社日光電機製作所 (京都府久世郡久御山町)
- KES1-0415 株式会社MR T (大阪府八尾市)
- KES1-0416 株式会社西野工務店 (京都市右京区)
- KES1-0417 株式会社小室塗装店 (京都市伏見区)
- KES1-0418 浪速製紐株式会社 (大阪府中央区)

●ステップ2

- KES2-0218 株式会社トーコー (福岡県田川郡福智町)

- KES2-0219 ケイター株式会社 (福井県勝山市)
- KES2-0220 株式会社BFC (愛知県弥富市)
- KES2-0221 宇治電器工業株式会社
(本社:宇治工場:京都府宇治市 美山工場:京都府南丹市)
- KES2-0222 株式会社衣川製作所 (京都市伏見区)
- KES2-0223 テクノアシスト株式会社 (大阪府北区)
- KES2-0224 株式会社松尾製作所
(本社:京都市右京区 南営業所:京都市伏見区 滋賀営業所:滋賀県大津市)
- KES2-0225 寿フォーム印刷株式会社 (京都市南区)
- KES2-0226 日栄技研株式会社 (京都市山科区)
- KES2-0227 有限会社吉田製作所 (滋賀県守山市、草津市)
- KES2-0228 株式会社桶谷製作所
(本社:京都市南区 本社営業・北工場・南工場:京都市南区)
- KES2-0229 大槻工業株式会社 (京都市右京区)
- KES2-0230 株式会社洛北産業 (京都市左京区)
- KES2-0231 山本精工株式会社 (京都府城陽市)
- KES2-0232 株式会社丸山製作所 (京都府久世郡久御山町)

事務局短信 下旬にもなって肌寒い日のあった今年の4月。天候も不順のせいか、どうも気持ちの切り替えがもう一つ。連休明けから再スタート! (滋野) / 桜の季節が終わり、新緑のまぶしい季節になりました。生命力に満ち溢れていて、私が一番好きな季節です。連休中は森林浴に出かけてリフレッシュしたいです。(小山) / 今年はバタバタしている間にお花見に行きそびれてしまいました。もう少しゆとりをもった毎日を過ごしたいものです。心持次第と思いながらも、実行は難しいですね。(竹村)